

# 海上学園都市

～キャンパスを越えた学生たち～



403723 永谷 太一郎

来年春、神戸・ポートアイランドに3つの大学キャンパスが誕生する。  
各キャンパスの機能を補完する中核施設をつくり、異なる大学の学生が交わることをめざす。

### ポートアイランドとは

昭和41年(1966)から「21世紀の海上文化都市」を目指して神戸市において埋立が進められ、昭和56年(1981)に島開きを記念して「ポートピア81(神戸ポートアイランド博覧会)」を開催。その後南への第2期地区埋立、今年開港した神戸空港を以って一応の埋立で完了となっている。現在、第2期地区・空港等の企業誘致はさほど進まず、第1期地区(初期)の機能低下も見られる。一方、第2期地区の一部を「先端医療産業特区」に指定、医療機関や関連企業の誘致を図り2005年現在で70社程度が進出している。



### ポートアイランド北西部は

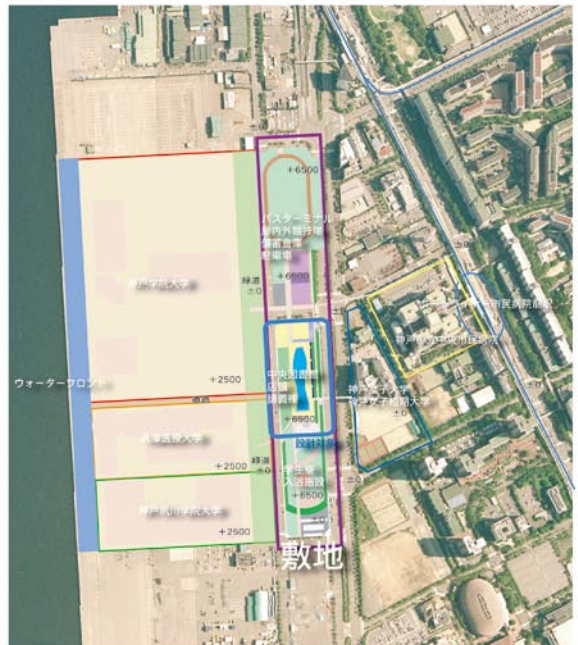
かつてコンテナバースとして使用されていたが、付近は水深が9mと浅く、近年の大型コンテナ船に対応できないことから地位が低下していた。よって神戸市はポートアイランド北西部付近を再開発エリアに指定し、対岸のハーバーランド・メリケンパーク・HAT神戸などのウォーターフロントに置きながらコンテナバースからの脱却を図っている。



ポートアイランド北西部にある敷地(空き地)を南から北へ望む

### 海上学園都市の出現

そのポートアイランド北西岸には現在、神戸女子大学・神戸女子短期大学がある。新たに出来る3つのキャンパスは敷地(空き地)を挟んだ海岸沿いに誕生する。今回、その敷地に目的にかなう補完施設を配置し、その中から中核施設である中央図書館・店舗・講義棟からなる複合施設を設計する。



敷地周辺配置図 1/3000



敷地全体としては西(海)側に新設される新キャンパス群(神戸学院・兵庫医療・神戸夙川学院)と東(駅)側(神戸女子・神戸女子短期)に挟まれた東西80m、南北700mの長方形の空き地に設計した。この空き地には現在役目を終えた建物があるだけで、敷地の西(海)側に誕生する新キャンパス群とのつながりを断する。最寄り駅は東にあるポートライナー市民病院前駅であり、三ノ宮駅からポートライナーと徒歩で19分の近さである。西(海)側にある新キャンパス群のウォーターフロントからは神戸港と六甲山が一望でき、昼だけでなく夜景も楽しめる。毎年夏には花火大会が神戸港で催される。



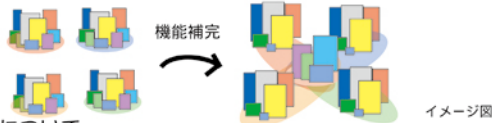
ポートライナー市民病院前駅周辺  
 中央市民病院北側道路  
 大学キャンパスへの通学路となる。

新キャンパス群側から敷地を挟んで神戸女子大学を望む。  
 敷地がキャンパスのつながりを断しているのが分かる。

神戸女子大学南端  
 人工島とは思えないほど緑が多い。  
 敷地を挟んで建設中の神戸学院大学を望む。

### 今回設定した補完施設の2つのねらい

- 各大学キャンパスが必要とする施設を個別に保有することは、資金・敷地において限界があり、質・量共にあきらめざるを得ない場合がある。他大学と共有できる機能を補完する施設を創ることにより、専門分野へ資金を集中でき大学の独自性が高まる。また現在土地が飽和状態である神戸女子大学・神戸女子短期大学や増築計画がすでに発表されている神戸夙川学院大学では、キャンパス内で新たに発生した余剰スペースを利用することで、拡張を抑制できる。
- 各大学の学生は、たとえ他のキャンパスが解放されていたとしても、実際には敷居が高く行くことはほとんどない。どの大学学生も「堂々」と行き来できる補完施設は他大生との出会いの場となり、ゆくゆくは他大生キャンパスへも気軽な行くことが出来るようになる位混ざり合うことで、本当の「学園都市」となる。



### 補完施設について

補完施設はどの大学にも属さない独立した組織である。各大学が相当の分担金を支払うことで成り立つ。まず、各キャンパスから近い場所に中核施設である中央図書館、講義棟と店舗を配置。中核施設の北側には姉妹校や他キャンパスを結ぶシャトルバスのバスターミナルと屋内外観技場・駐車場・防災備蓄倉庫、中核施設の南側には学生の住居である学生寮と入浴施設を配置する。各施設は地上6.5mを人工地盤とし、車道と分離して良好な環境を確保する。

### 講義棟・屋内外観技場

大学教育ではどの学問を学ぶかに関係なく一般教養を身につけるための講義がある。4年制大学において、前半の2年間はカリキュラムの約半分を占めている。現在この一般教育を各大学で行っているが、講師を一般人から迎えたり講座数が多いため、大きな負担となっている。専門分野へ資金を回したいため、一般教育の講座数は減少傾向にある。各大学が行っている一般教育を担うことで、講座数を増やせ学生は選択の幅ができ、また大学は専門分野へ資金と施設を集中できる。屋内外観技場は、保健体育の講義で使用すると共に、学生は他大生とともに部活動を行うことができ、かつ広大な土地を確保できない大学にとって土地利用効果は絶大である。

### 店舗

各キャンパスとを幾度も往復するのは避けたい。施設内に滞在して時間を過ごす人のために、飲食と物品購入が出来る店舗を導入している。ここで各大学にあるような生協では取り扱う商品が同じものになりがちである。よって施設利用者数の多さと、大学から独立していることからチェーン店を誘致する。

### バスターミナル

近くにポートライナーがあるが、例えば神戸学院大学有瀬キャンパスへ行く場合、既存の公共交通機関と約1時間はかかる。すでにシャトルバスの運行が予定されている。

### 防災備蓄倉庫

屋内外観技場は人工地盤上にあり、土地を確保するため東西の道路を使用している。本来道路は法律上使用できないが、人工地盤下を防災備蓄倉庫にすることで公共性を果たせ計画が通るようにし、かつ建設資金を自治体から支拂してもらった。災害時は地の利を生かして、ヘリコプター・トラック・船舶により24時間以内に関西圏に送る。

### 駐車場

補完施設利用者の駐車場を人工地盤下に確保する。

### 学生寮・入浴施設

現在、ポートアイランドには学生向け住居が全くない。民間が新キャンパス近くに建設する動きがあり、計画都市に無秩序な開発が進む可能性がある。良質な環境を確保し、また学生の交流が生活単位でも達成するためにも必要である。15階建ての学生寮からは絶景が楽しめる。入浴施設も寮に住む学生だけでなく、帰宅前や運動した後・徹夜でこもる研究生にも利用される。また付近住民が覗きつきかけられることも想定する。

### 大学案内

**神戸女子大学・神戸女子短期大学**  
 ポートアイランドキャンパス  
 昭和25年(1950)設立  
 須磨キャンパスとは別にポートアイランドへ平成4年(1992)に  
 現大キャンパスを新設。  
 平成18年(2006)に健康福祉学部をポートアイランドへ移転。  
 ポートアイランドに通う指定学生数は1,460人。  
 学部・大学院(健康福祉学部) 文学部・健康福祉学部・家政学部  
 短大には総合生活学科、食物栄養学科、初等教育学科がある。

**神戸学院大学ポートアイランドキャンパス**  
 昭和41年(1966)設立  
 神戸市郊外にある有瀬キャンパスが手狭になったため、  
 一部をポートアイランドへ移転する。  
 来年春新キャンパス開設。  
 ポートアイランドに通う指定学生数は3,460人。  
 学部・大学院(健康福祉学部) 法学部・経済学部・経営学部・人文学部・総合リハビリテーション学部・栄養学部

**兵庫医療大学**  
 兵庫医科大学の姉妹校として来年春新設。  
 ポートアイランドに通う指定学生数は1,620人。  
 学部  
 薬学部・看護学部・リハビリテーション学部

**神戸夙川学院大学**  
 夙川学院短期大学の姉妹校として来年春新設。  
 ポートアイランドに通う指定学生数は800人。  
 学部  
 観光文化学部



兵庫医療大学・神戸夙川学院大学からのアプローチ通路より施設を望む

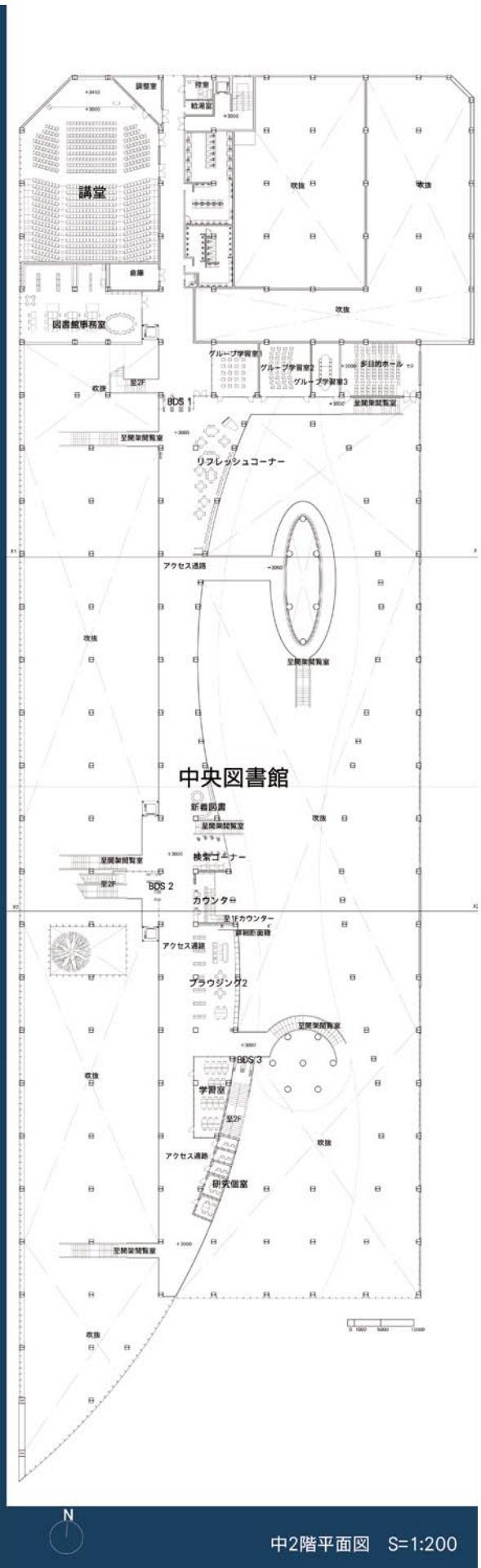
3F講義フロア  
 24の講義室で 受講対象学生2,200人に対し講義を行う。

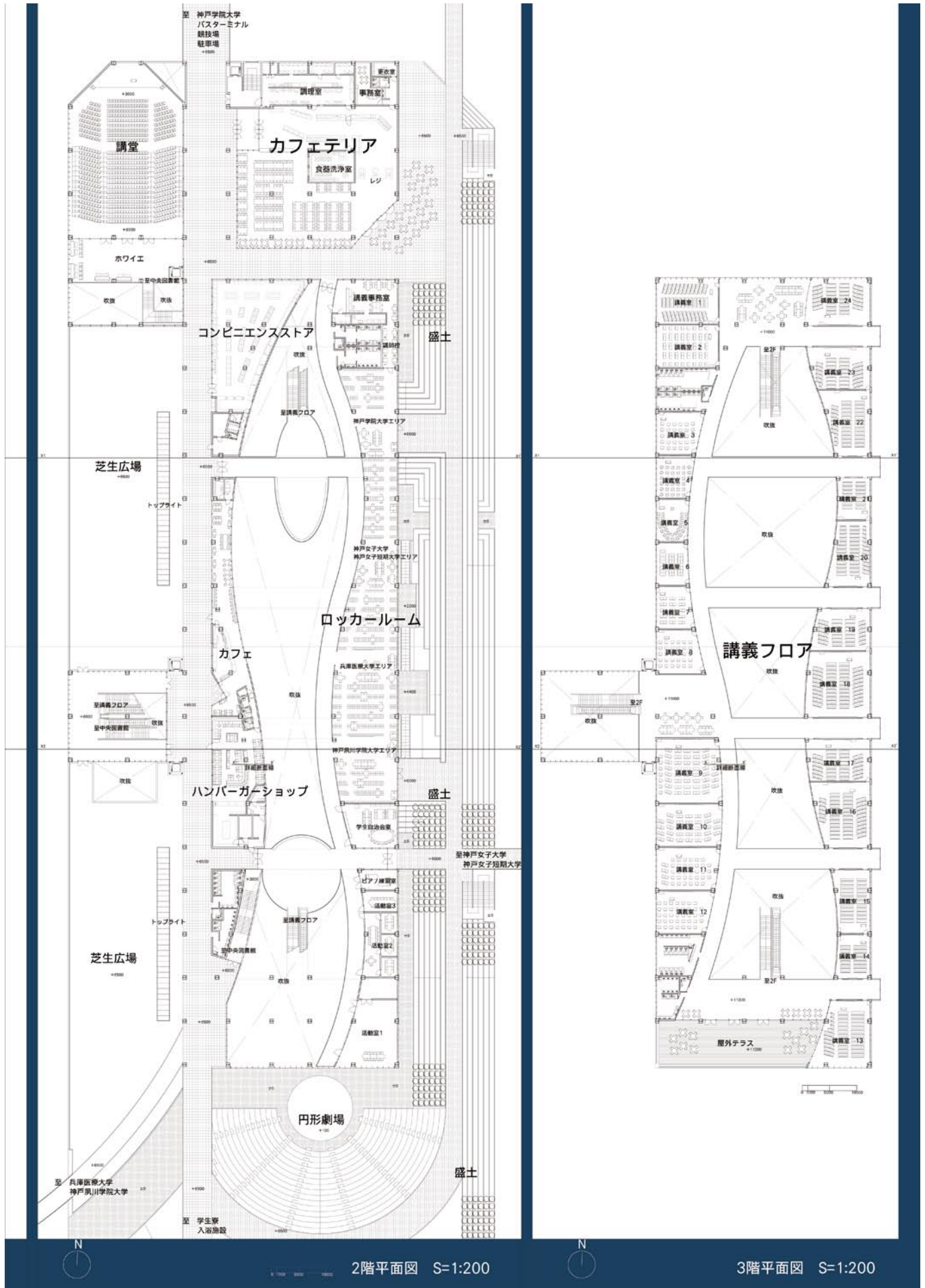
円形劇場  
 4大学の大学祭と同時に催しが行われ、芝生広場と共にメイン会場となる

2Fカフェ前通路から芝生広場・講堂を望む

施設鳥瞰







2階平面図 S=1:200

3階平面図 S=1:200



